

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料 (ゼミの概要について)

領域	研究室名	担当教員名	ページ
マーケティング	<a href="#">消費者行動研究室</a>	大藪 亮	2
	<a href="#">会計学研究室</a>	岡部 勝成	3
	<a href="#">サービス・マーケティング研究室</a>	張 婧	4
	<a href="#">国際政治経済学研究室</a>	松村 博行	5
	<a href="#">イノベーション研究室</a>	宮脇 靖典	6
	<a href="#">マーケティング研究室</a>	村松 潤一	7
	<a href="#">企業戦略研究室</a>	山口 隆久	8
	<a href="#">観光マーケティング研究室</a>	鷺見 哲男	9
データサイエンス	<a href="#">広域データ創造研究室</a>	大田 靖	10
	<a href="#">経営統計学研究室</a>	黒田 正博	11
	<a href="#">経営情報研究室</a>	水谷 直樹	12
	<a href="#">経済学研究室</a>	南川 高範	13
	<a href="#">統計科学研究室</a>	森 裕一	14
	<a href="#">社会心理学研究室</a>	横山 ひとみ	15
制度と文化	<a href="#">法学研究室</a>	川島 聡	16
	<a href="#">東アジア史研究室</a>	志野 敏夫	17
	<a href="#">情報メディア研究室</a>	八木 一郎	18
	<a href="#">比較文化研究室</a>	山形 真理子	19

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	消費者行動研究室	担当教員	大藪亮
担当教員の専門分野			
消費者と企業との相互作用を研究の中心にしています。具体的には、企業のマーケティングがどのように消費者行動に影響を与え、同時に消費者の行動がどのようにマーケティングに影響を与えているのかについて研究しています。			

ゼミの概要について
大藪ゼミでは、消費者行動を中心に研究していきますが、卒業論文のテーマにしぼりはありません。ゼミの主な活動は、①卒業論文に関する活動(毎週のゼミ)と②ゼミ全体で取り組む活動(随時)です。①および②どちらも重視していますので、ゼミ生は、どちらの活動にも必ず参加しなければなりません。大藪ゼミでは「どれだけ一生懸命、汗をかいたか」を重視します。

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
大藪ゼミでは以下のような学生を歓迎するとともに、ゼミ生に求めます。 ・しんどい時にも一生懸命頑張り続けることができる人 ・他人のせいにすることなく、一生懸命頑張り続けることができる人 ・少しでも良いものを作り上げようと、一生懸命頑張り続けることができる人 ・自分のためにではなく他人のために、一生懸命頑張り続けることができる人

今までのゼミ活動の紹介
基本的には、毎週のゼミ活動が中心となります。また、それ以外にも秋にはゼミ合宿をしたり研究会へ参加したりします。

その他希望する学生に伝えておきたいこと
上記の通り、①および②には必ず全員参加し、歯を食いしばりながら取り組む必要があります(それが心地良くクセになってくる人もたまにいます)。

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
ゼミ活動等についての質問や詳しい説明が必要な人は、メール(ohyabu@mgt.ous.ac.jp)にて対応します。または、フィンランド(ヘルシンキ)で直接お会いし質問を受けることも可能です。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	会計学研究室	担当教員	岡部勝成
------	--------	------	------

### 担当教員の専門分野

会計学における財務会計(会計ファイナンス)を,とりわけ日本会計基準,欧米会計基準の中小企業に関するキャッシュ・フロー計算書ならびにそれらの会計情報の有用性や役割を研究しています。

### ゼミの概要について

指定した会計学の基本テキストから担当を決め,レジュメを作成しプレゼンテーションならびにディスカッションを行います。そのことにより,会計理論と実務の両面を修得します。また,日経新聞も同様に担当が決めた記事のレジュメを作成し,プレゼンテーションならびにディスカッションを行います。さらに,テキストの全内容が終了後は,担当者が卒論のテーマを決め,持ち回りで卒論に基づいてプレゼンテーションをし,ディスカッションにより卒論を完成します。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

①財務会計(会計ファイナンス)に興味を持っている,②毎回出席をする,③簿記やファイナンシャル・プランニング等に興味をもっている,④やる気があり最後まで諦めない,⑤就職先に金融機関関連に志望している。

### 今までのゼミ活動の紹介

岡部ゼミから発展したAFP研究会という組織を中心に,ゼミの時間以外に企業が応募者に求める資格第1位の日商簿記検定や国家資格ファイナンシャル・プランニング技能検定等の資格取得を支援します(他に宅建合格者あり)。また,第一線で活躍しているビジネスパーソン等のゲストスピーカーによる講話を実施します(元ANA国際線キャビーアテンダント,海外でITを駆使した民泊のベンチャー企業の起業家等を招聘)。さらに,外部のSRCセミナー参加や簿記やFPを活用した企業とのPBLを玉島信用金庫や両備グループと行いました。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

毎週ゼミを行いますので,自己管理には留意し欠席をしないようにしてください。また,企業情報やさまざまな業種情報等を提供し,そのことにより専門知識や当事者意識,さらには職業意識を醸成します。限られた時間の中で成長するとともに目標に向け自己実現してほしいと思います。なお,ゼミ生の志望就職先については指導をしていきたいと思っています。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

オフィスアワーを含め時間が空いていれば丁寧に対応したいと思います。できれば,okabe@mgt.ous.ac.jpにアポとると一層効率的・効果的に説明責任が果たせると思います。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	サービスマーケティング	担当教員	張 婧
担当教員の専門分野			
<p>*流通論・小売マーケティング・・・コンビニエンスストア・食品スーパー・ショッピングセンターなど身近な小売業を対象とする研究</p> <p>*サービスマーケティング・・・目に見えないサービスの品質や、企業と顧客の相互作用、ロジックとしてのサービスの考え方に関する理論的・実証的研究</p> <p>*消費者の生活世界の解明についての研究・・・消費者はどのように商品を消費使用するのか、消費者にとって商品はどのような意味を持つかなどの問題を消費使用場面やそれに関連する生活場面に焦点を当てて解明する。</p>			

### ゼミの概要について

当研究室はサービスという視点から、「企業」と「顧客」を対象とする研究を幅広く取り組んでいます。素朴の疑問(なぜ、不思議に思うこと)=問題意識を大事にし、それを卒業研究のテーマにして解決していきます。問題を解決するために、ゼミでは、関連する理論知識、研究調査手法、論文の書き方をしっかり勉強してもらいます。「研究」の面白さを実感させ、そのもとでロジカルに物事を考える力を身に付けてもらいます。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

- ・マーケティングに興味関心を持つ学生。
- ・日常的の「不思議」を自分の力で解明しようとする意欲がある学生。
- ・卒業研究を通して成長したい学生。
- ・文献(書籍や論文)を読むことに抵抗しない学生。

### 今までのゼミ活動の紹介

春学期では、主に文献の輪読や議論を通して、理論知識や研究手法の勉強を行います。時間をかけて自分の解決しようとする「問い」を明確にし、それを面白い・意義のある研究課題として確定します(「問い」を理論課題に「翻訳」する作業)。

秋学期では、自分のテーマを中心に、研究調査をデザインし、アンケート調査やインタビュー調査を実行していきます。

もちろん楽しい食事会があります。昨年度ではカラオケがあって、今年度はボーリング大会を企画しています。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

ゼミの特徴は、教員としてできる限りゼミ生の卒業研究をサポートすることです。教員と一緒にディスカッションをしながら、一緒にアイデアを考え、一緒に成長していきます。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

ゼミ訪問希望の学生は月曜日3限目、木曜日2限目にきてください。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	国際政治経済研究室	担当教員	松村博行
------	-----------	------	------

### 担当教員の専門分野

科学技術イノベーションをめぐる国家と市場(企業)の相互補完関係および緊張関係を読み解くという問題意識が私の研究の柱です。ここから、日米同盟、経済グローバル化、アメリカ経済、防衛産業などの個別テーマへと研究を展開させています。

### ゼミの概要について

- ① 扱うテーマ: 国際関係、日本政治、グローバル経済、安全保障、外国事情など。
- ② ゼミの進め方: 文献研究が中心ですが、選ぶ研究テーマによっては、アンケートやインタビューも行ってまいります。
- ③ 獲得を目指す能力: 「なぜ?」と問う心。そして「ホンマか〜?」と疑う心。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

- ① 本や論文をしっかりと読むこと: インプットがなければよい卒論は書けません。
- ② 議論に参加し、自分の意見を表明すること: セミナールの良いところは、自分の発表に対し、他の人がフィードバックをくれるところです。仲間の思考を深めるために、ぜひ積極的に意見を出して下さい。
- ③ 授業以外のゼミ活動にも積極的に参加すること: ゼミでの交友関係は、社会人になってからも続くものです。イベントや飲み会などを通じ、ぜひ横のつながりを積極的に作って下さい。

### 今までのゼミ活動の紹介

- 最近の卒論テーマ: 韓国の若い世代はなぜ進歩派を支持するのか? / 地政学ってどんな「学」なのか? / 自衛隊の活動領域拡大はなぜ行われたのか? / 安倍と岸の類似点と相違点、などなど。
- かつては、「日本人はなぜ武器輸出に否定的な意識をもつのか」というテーマでアンケート調査を行った学生や、「岡山の日本酒の輸出戦略」というテーマで酒蔵にインタビューに行った学生もいました。
- ゼミ対抗ソフトボール大会で準優勝2回、優勝1回。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

- 例年、夏休み明けの頃に近畿大学経営学部のゼミと合同研究会を大阪で実施しています。ここで皆さんの卒論構想を発表してもらい、近大の学生や先生からコメントを貰います。これには必ず参加して下さい!

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

オフィスアワーは月曜日の2限・3限、金曜日の2限・5限です。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	イノベーション研究室	担当教員	宮脇靖典
------	------------	------	------

### 担当教員の専門分野

顧客の生活世界へ入り込む「価値共創」によって、イノベーションが単なる技術革新にとどまらず社会へ定着する可能性がどのように拡大するのかについての研究。その可能性に対して、企業をはじめとするイノベーションの利害関係者による「越境」あるいは「触媒的機能」がどのように作用するのかについての研究。

### ゼミの概要について

当研究室では、アイデアの種が芽生え、開花し、新しい価値という果実を実らせ、それを社会へ定着させるまでをイノベーションとします。したがって、新商品や新事業ばかりでなく組織や地域など広い視点からイノベーションを捉えたいと考えます。これまでイノベーション・ラボ等を通じて皆さんが得た経験や知見、あるいは問題意識を出発点に、イノベーションに対する理解をゼミ全体で深めた上で、各人の成果を卒業研究という形に実らせていく活動に力を入れます。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

イノベーションで大切なのは、創造性の尊重および他者とのコミュニケーションです。したがって、未知の事柄に対して抵抗感より好奇心が勝る人、違和感を放置せずその理由を考えようとする人、未知の、あるいは多少違和感がある人とのコミュニケーションに努力を惜しまない人の参加を希望します。

### 今までのゼミ活動の紹介

当ゼミは本年度からスタートします。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

当ゼミのキャンパスは、現在真っ白です。担当教員と試行錯誤を共にしてください。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

当研究室の訪問対応は、月曜日と木曜日のいずれも12:30~14:00とします。ただし、「経営組織」のオフィスアワーでもあるので、都合により対応できない場合があることをあらかじめ了承願います。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	マーケティング研究室	担当教員	村松潤一
担当教員の専門分野			
プロセスとして捉えるサービスの視点から、マーケティングの理論的体系を再構築しています。			

ゼミの概要について
ICTを背景として、企業と顧客の新たな関係が生まれていますが、両者の関係を研究対象とするものがマーケティングです。ゼミでは、そうした新しいマーケティングに関するテーマで卒業論文を執筆し、研究することの面白さを経験してもらいます。スケジュールは、4月テーマ設定、5月～6月先行研究レビューと枠組み構築、7月データ収集・分析、8月～10月執筆、11月完成、12月以降ブラッシュアップ、です。スケジュール通りにゼミを進めていくため、通常のゼミに加え、別途、個別ゼミも実施します。

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
自分で研究のテーマを決め、課題を解決するための方法を創り出すことのできるのが研究であり、その結果、導き出した結論が高い新規性を持っていることが良い研究となります。そこで、①覚えることより、考えることが好きな学生、②実務だけでなく、理論的なことに強い関心のある学生、③自由な発想のできる学生、の入ゼミを希望します。

今までのゼミ活動の紹介
現4年生は、スケジュール通りのゼミ活動をおこなっています。

その他希望する学生に伝えておきたいこと
新しいマーケティング体系の構築に、是非、参画しましょう。

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
特にありません。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	企業戦略研究室	担当教員	山口隆久
------	---------	------	------

### 担当教員の専門分野

\* 経営学の経営戦略、マーケティング、金融などの理論を企業の活動を理解する切り口として、地域企業の活性化や、地域、および地域経済の振興などに積極的に貢献できるよう研究しています。

### ゼミの概要について

\* 山口ゼミは、大学院生(博士4・修士1)が5名も在籍する大きなゼミです。企業や団体組織からの研究依頼も多く、多くの企業・組織人がゼミに絡んでこられます。また、研究合宿や台湾での海外研究会もあるなど、他ゼミに比べると、少し面倒なゼミにはなりますが、いろんな経験から知見を得るものも多いと考えています。大学生活の仕上げにちゃんと経営戦略、マーケティングを学んでみようかと思う学生は是非おいでませ、山口ゼミへ!

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

\* 以下の考え方に共鳴できる学生のゼミ参加を希望します!  
山口ゼミでは、「社会人になっても学び続けられる人材の育成」を考えています。  
その根本となる、主体的に動いて、学んでいく楽しさ、人と学びを共有する楽しさを経験的に体得させていくことをゼミの一番の目標としており、楽しい場(ゼミ)を作り、学生をガンガン巻き込んでいきます。なので、チームビルディングに細心の注意を払いつつ、活動は徹底して学生主体。結果にもこだわらせる指導を行っていきます。

### 今までのゼミ活動の紹介

\* 学生自身でプロジェクトを起こす!  
実際にビジネス活動を手伝い、収益を上げる難しさを体験しながら、「ブランド化」について学びます。ゼミ活動は、徹底して学生主体。プロジェクトのテーマ決めから自分たちで行い、一昨年は「インバウンドを利用した岡山県のブランド化」、昨年は「美観地区・アウトレットを利用した倉敷地区のブランド化」、そして今年は「池田動物園のブランド化」に取り組んでいる。嗜好が色濃く出る年もあるが、やりたいと言うなら、失敗の確率が高くても基本的にGOさせています(学生主体)。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

\* 山口ゼミは他ゼミに比べ、少し異質で面倒なゼミ!  
しかし、ゼミ生の成長幅には自信があります(笑)。その根拠は、実際にゼミで多くの企業・組織人にもまれ、ビジネスを行い収益を上げることを手伝うことで、ブランド化について学ぶという活動内容にあります。モチベーションが、外から与えられたものから、内から発したものに変わっていくそのタイミングを自身で是非、体験してください。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

\* 何事もいっぱい話し合うことは必要です!  
私が在室しているときに限りますが、研究室訪問は歓迎しますが、研究室訪問の目的は当ゼミを知りたい皆さんから担当教員への質問の場であることをわきまえて訪問するようにしてください。



## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	観光マーケティング研究室	担当教員	鷲見 哲男
担当教員の専門分野			
<p>* 観光による地域活性化について、具体的な事例に触れることで、地域が元気であり続けるための要因や施策について研究すること。</p> <p>* 日本独特の旅行形態である修学旅行について研究し、その歴史やトレンドを研究すること</p>			

ゼミの概要について
<p>当研究室は経営学科の中で唯一、観光(ツーリズム)をテーマとしています。ゼミでは、座学による事例研究にもツーリズムを学ぶ入口として取り組みますが、卒業研究では現実の地域の調査等により、「観光によるまちづくり」の現場で起きていること、あるいは課題等を通じて、地域が元気であり続けるための研究に取り組みます。現場主義によるゼミとして活動してゆくことを承知していただき、当ゼミに参加してください。</p>

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
<p>現場主義のゼミであることを概要の中で述べましたが、以下のような学生に是非参加してもらいたいと考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① フィールドワークに積極的に参加しようと努める学生</li> <li>② 地域の人々とのコミュニケーションを積極的にとろうとする学生</li> <li>③ 何事にも積極的に行動する意欲があり実際に行動する意欲のある学生</li> <li>④ 社会人としてのマナーや守るべきルールをしっかりと理解し、実践できる学生</li> <li>⑤ ゼミ内のチームワークを高め、協力しながらお互いに切磋琢磨できる学生</li> </ol>

今までのゼミ活動の紹介
<p>昨年の秋期には、3年生ゼミ生4名により赤磐市へのフィールドワークを反復的に行い、今年3月6日には「赤磐市の観光に関する企画提案」を赤磐市役所会議室で市職員をはじめ、関係者の方々に約1時間プレゼンテーション行いました。学生の提案から実際の施策につながった事例もあります。</p> <p>また、時期は前後しますが9月には奈良へのゼミ研修旅行も行い、春日大社・なら燈花会の会の関係者の方へのインタビュー調査も行いました。</p>

その他希望する学生に伝えておきたいこと
<p>上記の「学生に期待すること」、あるいは「活動の紹介」のとおり、ゼミ室での活動はもちろんですがゼミの時間以外のフィールドワークに時間を割きますので、アルバイトやその他個人的なスケジュールを積極的に調整し、ゼミに参加していただくことを求めます。</p> <p>また、挨拶や基本的なマナーを実践できない学生を当研究室は歓迎しません。</p>

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
<p>研究室訪問は歓迎しますが、研究室訪問の目的は当ゼミを知りたい皆さんから担当教員への質問の場であることをわきまえて訪問するようにしてください。</p> <p>ゼミ訪問対応は月曜日2限目、3限目 と 木曜日3限目、4限目(ただし12/2は不在です)。</p>

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	広域データ創造研究室(ICLラボ)	担当教員	大田 靖
------	-------------------	------	------

### 担当教員の専門分野

☆日常の疑問をさまざまな方法を用いて把握・検証することを研究のテーマとしています。  
 ☆人間の感情、動作や行動などに興味をもち、スポーツ・音楽・流行の分析にも取り組んでいます。  
 ☆流行現象のマーケティングへの応用にも取り組んでいます。

### ゼミの概要について

大田ゼミでは、みなさんが感じている日常の疑問を、さまざまな手法を用いて把握し、その疑問の解消に向けて取り組んでいきます。マーケティング、スポーツ、音楽、人間の行動、街づくりなど、どのような分野からも疑問が湧いてくると思います。湧きあがった日常の疑問を基に得られたデータから未来を創造することがゼミのテーマです。是非、みなさんの疑問を聞かせてください!

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

大田ゼミでは、日常に溢れている疑問に思うことをさまざまな方法を用いて把握し、そこから新たな知見を引き出すことをゼミの目標にしています。「なぜこの商品は売れるのだろうか?」「なぜ体が細いのにめっちゃめっちゃ速い球を投げることができるのだろうか?」「赤ちゃんはなぜ泣くのだろうか?」「なぜ人は宝くじを買うのだろうか?」「なぜすぐ怒る人とめったに怒らない人がいるのだろうか?」など、我々の日常は疑問だらけです。みなさんには、自分自身が疑問に思うことを少し立ち止まって考えてみて欲しいと思います。その疑問を大学生生活最後の1年間で一緒に解決しましょう!

### 今までのゼミ活動の紹介

ゼミでは、みなさんの疑問を聞くことから始めます。その後、その疑問の解消方法として、現地調査、データ収集、分析、考察、発表と進んでいます。

以下にこれまでのゼミ生のテーマの一例を記しておきます!

- ・ピザ店の選択基準とは?・マクドナルドの秘密・商店街の活性化案の提案・赤ちゃんの泣き声の解析
- ・お勧めのコーヒーの提案・USJを愉しむ方法・野球で速球を投げる方法・ディズニーランドの廻り方

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

卒業論文の主演はみなさんです。

しっかりと自分のやりたいことを考えて、それを聞かせてください。

1年間はあっという間です。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

大田ゼミは希望する場合は、ぜひ研究室訪問をして下さい。

その際には、いま疑問に思っていることを教えてください。それが卒論のテーマにつながります!

水曜と木曜の2~4限、金曜の2限を基本としますが、訪問の際には事前に

yota@mgt.ous.ac.jpまでメールし、アポイントメントを取ってください。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(各ゼミの概要について)

研究室名	経営統計学研究室	担当教員	黒田 正博
担当教員の専門分野			
* 多変量データの関係性分析 * 統計数値計算法の開発			

ゼミの概要について
当研究室はデータ解析手法の研究とマーケティングデータの解析をテーマとしています。ゼミでは、Excelや統計解析ソフトを使い、実際にデータ解析をおこなっていく中でデータ解析の目的にあった解析手法の選択と解析結果の解釈方法について勉強してもらいます。さらに、興味があれば新しい解析手法のためのプログラム作成にも取り組んでもらいます。卒業研究では、ゼミで学んだ解析手法を用いたマーケティングデータの解析をおこなってもらいます。

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
データ解析とコンピュータプログラミングに興味のある学生であることが第一です。この2つは、試行錯誤を繰り返しながらの根気強く作業をしていく必要があります。そこで、次のような学生に参加してもらいたいと考えています。
① 与えられた課題に対して、意欲的に取り組む気持ちを持っている学生 ② 課題解決のために自発的な調べがができる学生 ③ 約束の期日を守ることができる学生

今までのゼミ活動の紹介
データ解析かプログラミングを中としたゼミをおこなっています。データ解析では、Excelや統計ソフトを使って解析手法の理解と出力結果の解釈ができるようになってもらいます。また、プログラミングでは、VBAやRを使ってのデータ処理のためのプログラム作成をおこなっています。卒業研究は、これらのどちらかをベースにした課題に取り組んでもらっています。

その他希望する学生に伝えておきたいこと
特にありません。

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
研究室訪問は歓迎します。ただし、学内業務が忙しく研究室を空けていることが多いと思います。お昼休みは研究室にいるようにしますので、ここに訪問するようにしてください。 秋2学期のオフィスアワー：月曜日から金曜日のお昼休み。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	経営情報研究室	担当教員	水谷 直樹
担当教員の専門分野			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータやインターネットなど、情報通信技術の有効活用についての研究</li> <li>・ビジネスにおいて発生する問題や社会問題を解決するためのシミュレーション研究</li> </ul>			

ゼミの概要について
<p>ビジネスについて幅広く勉強し、情報通信技術の有効活用について研究します。ビジネスの分野で、情報通信技術がどのように活用されてるか、問題点は何か、今後どのような利用方法が発展するか、新しい活用方法を提案できないか、など考察します。</p> <p>また、実験研究が可能な研究対象であれば、実験研究を推奨します。ビジネスに関連する実験研究であれば、情報通信技術と密接に関わらない内容であっても研究を奨励します。</p>

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
<p>次のどちらか、あるいは両方に該当する学生であることを期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信技術に興味があり、新しいサービスを生み出してみたいと考える学生</li> <li>・ビジネスにおける効率向上に関心があり、方策の創出に興味がある学生</li> </ul> <p>また、「自分で考えること」「意見を発信すること」、これらの能力を伸ばしたい学生を歓迎します。さらに、「他の人の意見を尊重できる」学生であることを望みます。</p>

今までのゼミ活動の紹介
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究(ゼミ活動の大半を占めます)</li> <li>・組立パソコンの製作(パソコンを部品から組み立てる実習)</li> <li>・サーバー構築実習(Webサーバーを構築する実習)</li> <li>・プログラミング実習(プログラミング言語を習得)</li> <li>・テーマを決めてソフトウェアを製作</li> </ul>

その他希望する学生に伝えておきたいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT業界、情報通信関連業界への就職を目指す学生を歓迎します。</li> <li>・人工知能、IoT、コンピュータ、インターネット、ハイテク技術、などに関心のある学生に、新しいビジネスアイデアの創出にチャレンジしてほしいと考えています。</li> <li>・希望者が多ければ、小型ロボットを動作させるプログラミング実習を行う予定です。</li> </ul>

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
<p>研究室の訪問は、3時限目開始時刻(13:15),4時限目開始時刻(15:00),5時限目開始時刻(16:45)のいずれかをお願いします。実施できないときは、研究室に随時掲示します。</p>

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	経済学研究室	担当教員	南川 高範
担当教員の専門分野			
時系列データによる回帰モデル、産業連関分析の手法、多変量解析の手法などの計量経済的な方法論を用いて、経済的な現象について、主に中国のマクロ経済を対象に考察するという研究をしています。言い換えると経済現象についての仮説を立てて、計量経済の方法により検証するという研究のスタイルです。			

ゼミの概要について
経済や社会について自分の関心の持っていることを、科学的な視点から検証し、解決を図るということを目的としたゼミです。科学的な視点からの検証とは、関心を持っている対象のことを把握し、課題を見つけ、その課題についての仮説を立て、その仮説を論証し、主張をするという方法論のことです。社会で起こっていることについて、善い、悪い、好き、嫌いだけではなく、本質を理解して、客観的な根拠をもとにした主張ができるようになるという力を養うゼミを想定しています。

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
研究とは、突き詰めること、その分野においてとことん知ろうとすることだと考えます。ゼミでも、それぞれに卒業研究を行うこととなりますが、その対象として、とことん調べるといった関心のあることを持っている学生に来てほしいと考えています。

今までのゼミ活動の紹介
本年度開講予定のため、活動実績はありません。

その他希望する学生に伝えておきたいこと
研究における議論は、非常に重要であると考えます。自分の研究に対する他者の意見や、他者の研究に関心を持ち意見を言うことは、互いの研究に有益な効果をもたらすと考えます。自分が何かに関心を持っているということに加えて、ゼミでは、他者の関心事について関心を持てるということに価値を見出せることも求めます。

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
秋2学期ミクロ経済学講義の中でゼミ紹介の話を予定しています。12月2日、12月5日の講義冒頭の予定です。また、秋2学期は、月曜日の4講目、木曜日の4講目をオフィスアワーとしており、研究室の訪問を受け付けています。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	統計科学研究室	担当教員	森 裕一
担当教員の専門分野			
マーケティングや世の中を大きく動かすデータサイエンス,その情報を分析する有効な手段としての統計の理論的な研究およびコンピュータによる数値的検討や新しい手法の開発・プログラム化などを行っています。たとえば,データをわかりやすく可視化したり,たくさんの調査項目の中からよりよい項目を精選したり方法などです。また,計算の効率化や統計教育用のデータサイトをWeb上に構築することも行っています。これらは,計算機統計学の分野に入る研究です。入門から専門までのさまざまなデータ分析とそのシステムおよびコンピュータ利用を日々研究しています。			

ゼミの概要について
森ゼミのテーマは「社会における実際問題を統計的手法とコンピュータを道具として解決する手だてを考察・開発する」です。実際には,統計組とコンピュータ組に分かれて次のような研究しています。 【統計分野】 ・統計手法やソフトをマスターし,データ解析   ・統計関連のツール集を作成 【コンピュータ分野】 ・コンピュータ言語をマスターし,アプリ作成   ・Webアプリを利用しシステム構築 国際的な研究交流もあります。研究がおもしろくなると大学院に進学して研究を続けます。

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
当然ながら,データ分析とコンピュータに興味がある人を望みます。 しかし,それよりも大切なことは,ゼミに来て,「教えてもらおう」ということではなく,「自ら学びとってやろう」,「卒業時にはこの分野の専門家になってやろう」という心だと思えます。卒業研究,目標をもってやっていきましょう。

今までのゼミ活動の紹介
代表的な卒業論文のテーマをあげます。 ・機械学習の研究 -瀬戸大橋アンケートのデータを用いて- ・ベイジアンネットワークの活用 -昼食場所の選択- ・買い物弱者の可能性について -地理情報を用いて- ・レビューサイトの日英比較 -テキストマイニングを利用して- ・スポーツデータの統計的分析 -投手力によるチームの考察とクオリティスタートの評価- ・shinyを利用した統計解析アプリケーションの作成

その他希望する学生に伝えておきたいこと
2010年度からは「岡山県統計グラフコンクール」に挑戦,県では常に上位で,最近では全国大会にも進んでいます。また,他大学とのゼミ交流や企業さんからの相談事案に協力することもあります。こういったことにもしっかり力を発揮してくれたらと思います。

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
オフィスアワーには研究室にいますようにしますが,他は不在のことが多いかもしれません。もし,なかなか会えないようであれば,メールでアポを取ってくれると助かります。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(各ゼミの概要について)

研究室名	社会心理学研究室	担当教員	横山ひとみ
------	----------	------	-------

### 担当教員の専門分野

円滑な/良好なコミュニケーションを行うための心理的・行動的要因を研究し、その研究結果からコミュニケーション・スキル向上のプログラムの提案を行っています。また、集団やチームの知的生産性と、時々刻々と変化する人々の心理的・行動的動態の関連性を研究しています。

### ゼミの概要について

当研究室はこころの働きについて科学します。ゼミでは、卒業研究論文を書く上で必要な知識である、心理学研究法(心理学研究の基礎知識、先行研究の探し方、研究法、人を対象とする測定における問題、記述・推測統計、研究倫理等)について学びます。卒業研究では、各自が、社会で暮らす中で抱いた素朴な疑問について研究します。また、どの研究法や分析方法が適切か等について相談や議論をしながら、研究を進めていきます。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

こころを研究対象とするので、社会心理学あるいは心理学に興味・関心がある学生、データを扱うので、データ分析に興味がある、または、Rなどの統計ソフトの活用が好きな学生を歓迎します。

ゼミ活動や卒業研究では、以下のようなことを期待します。

- ① 自主的に研究を遂行する
- ② 自分の意見を積極的に発信するとともに、相手の発言やその意図をしっかりと理解しようとする
- ③ 時間に余裕を持って行動をする
- ④ 壁にぶつかったり困ったときには相談する

### 今までのゼミ活動の紹介

3年生秋学期のゼミでは、ゼミ生が協力し合って同調行動に関する仮説を立て、質問紙を作成し、調査の実施、分析、考察を行い、その内容を各自レポートにまとめました。

4年ゼミ生は、各自のテーマで卒業研究に取り組んでいます。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

心理学といっても多様な研究分野があります。当ゼミを希望する場合は、〇〇心理学について研究したいというのではなく、より具体的な研究テーマ(あるいは素朴な疑問)を複数持っていてほしい。

研究を実施するにあたり、ゼミの時間以外に実験、調査、面接等を行う必要が出てきますので、その際は個人の予定を調整していただく必要があります。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

当ゼミについて質問があれば、疑問点や不明点を明確にした上で、オフィスアワーの時間帯にお越しください。

秋2学期のオフィスアワー：火5(12/3,と10)、木2(12/5と12)、木4(12/12のみ)。

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	法学研究室	担当教員	川島聡
担当教員の専門分野			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際人権法</li> <li>・ 障害法</li> </ul>			

ゼミの概要について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このゼミは、法律、政治、哲学、人権、障害、福祉、国際、エシカル消費をキーワードに活動しています。</li> <li>・ このゼミの過去の卒業生は、法律の卒論に限らず、さまざまなテーマで卒論を書いています。</li> <li>・ このゼミでは、卒論指導がメインとなりますが、必要に応じて、エシカル消費(人・地域・環境に配慮した消費)の関連活動を行うことがあります。</li> </ul>

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
<p>法律、政治、哲学、人権、障害、福祉、国際、エシカル消費(人・地域・環境に配慮した消費)といったキーワードのいずれかに関心がある学生は、このゼミに参加していただければと思います。</p>

今までのゼミ活動の紹介
<p>このゼミの学生は、昨年度、バリアフリー・マップのプロジェクトに関わりました(岡山市大学生チャレンジ事業・審査委員長特別賞)。このゼミでの過去の卒論テーマは、2018年度は優生思想、障害者雇用、ファッションの著作権、従軍慰安婦、アンチナチズム、2017年度はフーコーの権力論、パワハラ、動物の権利、賭博、体罰、DV被害、高齢者施設、皇位継承、2016年度は米国婚姻防衛法、再婚禁止期間、自衛権、マラケシュ条約、婚外子裁判、アスペルガー症候群と人権、LGBTと人権、2015年度は米国の人種差別、人権条約と国内裁判、割当雇用、ネットでの名誉棄損、発明と特許です。</p>

その他希望する学生に伝えておきたいこと
<p>このゼミの学生は、正当な理由がない限り、Eメールやラインの返信を遅れずに返すことや、基本的な挨拶をすることが求められます。このゼミの活動は、諸般の事情に鑑みて、イレギュラーに実施することがありますので、学生にはスケジュールの調整をお願いすることがあります。このゼミの学生は、相談の上、エシカル消費の関連活動に関わることが求められることもあります。</p>

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
<p>研究室を訪問される場合は、以下の日時をお願いします。</p> <p>12月3日(火)11時-16時、12月6日(金)11時-12時30分、12月10日(火)11時-14時45分、12月12日(木)13時-14時45分、12月13日(金)11時-12時30分。</p>



## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	東アジア史研究室	担当教員	志野敏夫
------	----------	------	------

### 担当教員の専門分野

- \*『史記』『漢書』『三国志』を中心に、中国の皇帝権を研究することがメインテーマです。
- \*現在は具体的には、皇帝権の重要な要素である外交という側面から、日本との交流史を研究していて、その流れで『古事記』『日本書紀』にある古代吉備の研究もしています。
- \*またその研究の一端として、怨霊や日本の祭りについても研究しています。

### ゼミの概要について

- \*卒論は、歴史のこと、民俗に関するものであれば何でもOKにしています。
- \*テーマは自分で決め、そのテーマに関する本や論文を読んで、卒論を書いていきます。
- \*基本的には、毎週、各自が調べてきたことを発表してもらい、ゼミ生全員で意見を言い合って、各人の卒論を考えていきます。
- \*そのほか、ゼミ生たち自身で計画して、吉備の史跡巡りや合宿などを行っています。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

- \*歴史・民俗に興味のある人。
- \*人の指示を待つのではなく、自分で考えて行動できる人。

### 今までのゼミ活動の紹介

- \*卒論に必要な本などは、大学の予算で買います。
- \*多いのは、卒論のために、帰省した時に、そこでしか調べられないことを調べてくる、ということです。
- \*吉備の史跡巡りでは、吉備津神社や楯築遺跡などのある「吉備路」を自転車で廻ったり、鬼ノ城などへバスで行ったりしました。
- \*合宿で行った先は、出雲、京都、奈良、高知などです。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

- \*火曜日・金曜日の午前中が、比較的研究室に居る確率が高いです。
- \*申し訳ありませんが、突然に別の予定が入ることがありますので、あらかじめ問い合わせをして、予約をしてから来てください。
- \*問い合わせ、予約は、shino@mgt.ous.ac.jp にメールでしてください。
- \*あまり早い問い合わせは、まだ予定が確定していないかもしれませんから、前日の午前中にメールしてください。
- \*上記以外の日時でも、研究室をのぞいてみてください。もしかしたら居て、話しができるかもしれません(^\_^;)

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	情報メディア研究室	担当教員	八木一郎
担当教員の専門分野			
メディア研究。特にインターネットの普及したネット社会における報道やジャーナリズムの役割、民意や世論の形成について研究すること。			

ゼミの概要について
メディアリテラシーの能力アップを図るために、新聞を活用したグループワークに取り組み、山陽新聞の工場見学なども行います。ネット社会における情報環境に理解を深め、情報やメディアに関するテーマで卒業研究を行います。

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
<p>①世の中の仕組みや社会の動きに好奇心を持ち、日ごろからニュースに関心を持って接することができる学生②社会の様々な事象に興味を持ち、自ら研究テーマや課題を設定して、研究活動に意欲的に取り組もうとする学生③他のゼミ生と協調しながら、活発なゼミの運営を進めることができる学生</p>

今までのゼミ活動の紹介
<p>大学生の政治意識を探るために理大だけでなく、他大学の学生も対象としたアンケート調査の実施。お気に入りの本の魅力を紹介しあうビブリオバトルを行い、「読む」「書く」「要約する」「発表する」ことのトレーニングなどに取り組みました。新聞に掲載された記事について議論したり、メディアの課題をテーマにしたテレビ番組を見たりして、報道をめぐるさまざまな問題についても考察しました。卒業研究については個別指導を行いました。</p>

その他希望する学生に伝えておきたいこと
<p>何事にもチャレンジし、あきらめずに取り組み続けることが大切です。卒業研究も就職活動も学生生活の集大成として自ら進んで取り組んでください。</p>

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
<p>当ゼミへの訪問については、2日(月)、3日(火)、9日(月)、10日(火)、11日(水)のいずれも2限目に対応します。</p>

## 令和2年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	比較文化研究室	担当教員	山形真理子
------	---------	------	-------

### 担当教員の専門分野

東南アジア考古学を専門としています。東南アジアにおける古代国家の出現、中国とインドからの影響、古代南海交易(海のシルクロード)に関する研究をおこなっています。文化遺産の管理と活用についても関心があります。

### ゼミの概要について

経営学科における学びの3本柱のひとつ「制度と文化」のなかで、日本を含むアジアの歴史と文化について学ぶことを重視しています。文化財関連会社でのインターンシップや、担当教員による海外調査に参加する機会があります。

### ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること

歴史、文化、世界遺産、遺跡、アジア、博物館などのキーワードに関係するテーマで卒業研究を行いたい学生に来てほしい。過去2年間に担当教員が指導した卒業研究のテーマは「世界遺産ミーソン聖域における文化遺産マネジメント」「ベトナム戦争の勝敗を分けた理由に関する考察」「ベトナムの鉄器時代遺跡出土動物骨の分析」「考古遺物に応用する3次元計測」「タイ北部の陶器製作」「ベトナム民族運動指導者と日本との関係」など。卒業研究を通して、ひとつの物事を深く追求し、考察することができる人になってほしいと期待しています。

### 今までのゼミ活動の紹介

2017年度、18年度にはベトナムにおいてゼミの調査研修を実施しました。帰国後に研修の成果をまとめ、ポスターを製作して発表しています。今年度は希望者2名が担当教員のベトナム調査に同行し、卒業研究の資料収集を行っています。海外渡航の費用は基本的に自己負担となるため強制参加ではありません。過去2年間に3名の学生が文化財関連企業でインターンシップを行いました。

### その他希望する学生に伝えておきたいこと

ゼミ生の就職先は様々な業種の企業と地方自治体です。将来どこでどのような仕事に就くとしても、日本とアジアとの関係に関心を寄せる姿勢は不可欠です。アジアの歴史と文化を理解し、アジア各国の人々と交流することは、自分自身を相対的に振り返る機会を与えてくれます。それはまた、自分が暮らす地域への洞察と愛着につながることでしょう。

### ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について

訪問を希望する人は12月6日(金)以降に来てください(12月5日午前中まで海外出張のため不在)。